



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE

503 Shinsaibashi Urbanlite  
 1-5-12 Nishi-Shinsaibashi Chuo-ku  
 OSAKA 542 JAPAN

NOVEMBER 1995. No. 5  
 The Service Club to the YMCA  
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1995~1996)

- IP "Youth-Our Heritage-Our commitment" 「ユース-我らの財産-我らの誓い」  
 AP "Y'sdom working with YMCA. Y'sdom working with Youth" 「ひとつとなって青年とYMCAへ」  
 RD 「共に生きる喜びを確信しよう」  
 DG 「今、ワイズの原点を見つめよう」  
 CP 「ひとりびとりを大切に！」 "Valuing each and every person"

=月間強調テーマ「BF・EF」

## = 11月の聖句 =

どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。  
 何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、  
 求めているものを神に打ち明けなさい。そうす  
 れば、あらゆる人知を超える神の平和が、あな  
 たがたの心と考えとをキリスト・イエスによっ  
 て守るでしょう。

(フィリピの信徒への手紙 4章6-7節)

## === 11月第1例会 ===

日時：1995年11月15日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.  
 場所：大阪グランドホテル

司会：秋月 利英君

1. 開会点鐘 柴田 健会長
2. ワイズソング ー 同
3. 聖句朗読 山村 幸明君
4. ゲスト紹介 柴田 健会長
5. 日々の糧及び黙禱 ー 同
6. 晩餐 ー 同
7. "Y'sにおけるファンドについて考える"  
 長瀬由香子君  
 鈴木 謙介君  
 隅田 保君
8. お誕生日祝い ー 同
9. ニコニコ献金 ドライバー
10. 役員会・委員会報告・YMCAニュース
11. 閉会点鐘 柴田 健会長

### ◎95/96年度日本区強調月間アピール

11月 BF・EF RSD 小川 幸治(麟)  
 [BFは無から有へ] 使用済切手の有効活用  
 (地球環境保全にも役立つ)を勧めましょう。  
 [BFはワイズの原点] 各家庭・会社・事業所  
 で集めましょう。  
 BF資金が、全世界のワイズの交流と親睦に  
 つながります。提出0のクラブが無いように  
 ガンパロー！ 皆様のご協力をお願いします。

10月在籍者	10月 出席者		10月出席率	BFポイント
29名	紳服	21名	58.6%	10月分切手 2,172 pts
広義会員	メソ	9名	(マイクラブ館)	現金 1,500 pts
0名	メネット	0名	前月出席率	
合計	コメット	0名	修正 - %	本年累計
29名	ビジター	1名		切手 6,680 pts
	ゲスト	1名		現金 10,420 pts
	合計	21名		

### 歳センテアルワイズメソクラブ 役員

会長：柴田 健  
 副会長：黒田 蔵之  
 "：佐藤 勝雄  
 書記：栗山 佳三  
 会計：秋月 利英  
 "：津田葉清政

### ◎11月第1例会当番：(第3班)

山村君、平田君、秋月君、三浦君、栗山君、掛江君：  
 会場の受付・準備・後片付けなど宜しくお願いします。

### ○ニコニコ献金：

16,000円



## 今日の聖句に寄せて

世界のYMCA・YWCAは毎年11月に世界祈禱週を設けて、世界の人々と祈りを共にしている。ところで祈りには感謝の祈りと願い事の祈りがあるが、前者はどうも有難うございますだから領収書的祈り、後者はよろしく頼みますだから請求書的祈りと名付けた人がいるが、私たちの祈りは請求書の前に領収書、つまり感謝の祈りからはじめねばならない。

(聖句撰・解説： 田中 穰二)



(EMCIについて興味深く語られる本島事業主任)

## = 10月第1例会報告 =

(10月18日(水) 6:30p.m.)

三浦直之

今月はEMCのE(エクステンション)の強調月間ということで、日本区EMC事業主任の本島 紀之氏(京都センチュリー)にゲストとしてスピーチをしていただいた。センテニアルも「なかのしまクラブ」をエクステンション中なので、時機を得た内容となった。ディナーを終え、氏は、このクラブの例会は、アットホームな雰囲気、非常に居心地がよいと述べられスピーチを始められた。

まず、興味深いことは、例会の様子が各クラブによってそれぞれ違うということである。点鐘の鐘が、お寺の鐘の形をしているところ、ワイズソングをパートに別かれて合唱するところ、ギターやトランペットで演奏するところといった具合。センテニアルの英語の歌詞もユニークである。人がそれぞれ個性があるように、クラブもそれぞれ色があり、香りがあるのである。

現在、日本区のワイズでは、6,000プロジェクトを推進しているが、なぜ6,000なのかと問われる人もいる。しかし、それには理由がある。それは、ワイズメンを存続させていく為に、次の若い世代を育てていかなければならないからである。この1年間に、248名が既存のクラブに入会、93名が新クラブにチャーターメンバーとして入会。しかし、一方で、316名もの退会者があったということを知識しなければならない。だから、退会者を出さないように、MC(メンバーシップ(会員増強)、コンサベーション(維持養育))が大事なのである。

エクステンションの新しい動きとしては、那須クラブが133番目のクラブとしてチャーターした。その他子定としては、金沢、富士宮、仙台青葉城、米子、熊本ジェーンズ、そしてセンテニアルなどがある。

又、クラブ活動のなかに、野外活動等をもっと取り

入れたらどうかと提案された。体を動かし、汗を流すことを求めている人が大勢いることを、経験から述べられた。(同感です)

最後に現在進行中の「なかのしまクラブ」のことに触れられ、あせらずに、気長にやれば、きっといいクラブができると励ましの言葉をいただいた。親クラブとしても大いに勇気づけられ、思いを新たにしました。

次に、今月から例会にゲストとして出席することとなった、ミャンマーの留学生、ヤン君の紹介があった。ヤン君は現在、大阪工業大学で勉強中で、将来、ミャンマーと日本の交流のかけはしになって活躍してくれたら、うれしいものである。

引き続き、会長他からインフォメーションがあり、定刻を若干オーバー気味に、柴田会長の点鐘により、例会を終えた。

## = B F 10月分報告 =

(BFポイントは第1面に掲載)

◎切手・現金提供者：(敬称、計額)

栗山、柴田、杉浦、鈴木、隅田、田中、  
谷川、津田葉、福永、真嶋、三浦、山田  
以上 12名

◇BFコンテストの基準が大改訂され、新米BF委員長といたしましても、只今大変混乱しております。

◆なお、先般改訂のBFコンテスト基準によれば、

10月分は、543 gr.で ¥3,258

累計では、1,670 gr.で ¥10,020 となります。

\*10月ブルテンにて切手10kg. 当り ¥6,000 となっておりますが、その後10kg. 当り ¥60,000 と訂正されました。

(BF 長瀬)





## 世界 Y M C A

### ワイズ最新事情

『台北 Y M C A 50 周年』

谷川 寛

○ 台北 Y M C A の 50 周年の記念祝典に、ワイズ・メネットと二人で参加しました。10 年以上前にワイズのアジア大会が台北であり、これに参加しましたが、それ以来です。

○ 最近の台湾は高度成長を謳歌しています。経済成長を武器に、国際社会への全面復帰と政治的自立への道を走りはじめました。これに対して中国が神経を尖がらせており、台湾海峡が紛争地域に浮上するかもしれません。

○ 台湾の外貨保有高は日本に次ぐといわれ、世界のパソコン生産のなんと 70% が台湾製といわれています。九州と同じ程度の広さの国土は、大変豊かで、生活をエンジョイしています。

○ 50 周年を迎えた台北 Y M C A も大変元気です。多くの海外のパートナー Y M C A の代表を招待し、三日間にわたり、礼拝を含めて、晩餐会などの多くの催しがありました。大変な歓待をうけました。

○ 大阪 Y から派遣されている宮本主事の所属する WAN HWA ブランチを訪れましたが、チャイルド・ケアを含め、多彩なプログラムを消化していました。

○ 台北セントラル・ワイズの AUSTIN LIN さんの提案で、一日前に訪れましたが、台北のワイズが歓迎会を開いてくれました。そこで、台北 LILY クラブ（女性だけのクラブで、香港のボヒニアとブラザー締結）の三名の女性会員に会いました。現在の会員数は 20 名、大半が職業をもった女性です。

新しく誕生する「なかのしまクラブ」と是非ブラザー締結を希望しています。三名ともシルクのプリントのブラウスを着て登場しましたが、このクラブのユニフォームだそうです。先日の大阪センテナルの例会で預って来た台北 LILY クラブのクラブバナーを杉浦さんにお渡ししました。相手は EMILY K. CHANG さんで、チャーター・メンバーです。香港ボヒニアとトライアングルが結べたら、と云っていました。香港ボヒニア、台北 LILY と同じく、女性クラブらしく、クラブの花を選定するように提案がありました。

○ 四日間の台北訪問は、ワイズ・メネットと二人で大変忙しい毎日でしたが、北米（ハワイ、サンフランシスコ、その他）とアジア（香港、シンガポール、マレーシア、その他）の各国の Y M C A 代表、そして地元の Y M C A の代表とのすばらしい交りの時をもてたのは、感謝です。



## 《なかのしまウィメンズクラブ》

### 10 月準備例会報告

戸田 亜理子

10 月の準備例会は、初めて「なかのしま」のメンバーだけで行いました。今回はゲストも呼ばず、わきあいあいとこれからの「なかのしま」の活動について語り合いました。

出席者は、川木、杉浦、松下、山地、戸田と 9 月から参加して下さっている本間さんでした。

10 月 11 日 Y M C A 記念日に開催した今回の例会は、まず連休の報告会で雰囲気はほぐれた後、会の活動を形あるものにしてゆくための会費、暫定的な役割分担などを話し合いました。また、CS 活動や Y M C A とのかかわりを語り合う中で、こんな事もできる、あんな事も、と「なかのしま」の活動に対する夢が大きく膨らみました。

今回決定したことは以下の通りです。

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. クラブの会費一年間 | 25,000円   |
| 2. 役割分担      | 会長 杉浦     |
|              | 副会長 山地    |
|              | 書記 川木     |
|              | 会計 松下     |
|              | CS 山地     |
|              | BF・EF 本間  |
|              | YSA SF 戸田 |
|              | ブリテン 戸田   |

「なかのしま」の設立に向けて踏み出すための大きな第一歩となりました。会のイメージが、より具体的なものとなりました。こうなったらもうがんばるしかないみんなで意思を確認しあった会になりました。11 月の例会も引き続き、「なかのしま」のメンバーだけで会の骨子を決めて行くことにしました。

### = M E M O =

#### 《BF Brotherhood Fund》

—ブラザーフード基金— (BF と通称)

以前ビショップ・ファンドと言われていた。国際役員や BF 代表が公式の旅行をするための資金源として、全ワイズメンの参加によって積み立てられる基金。

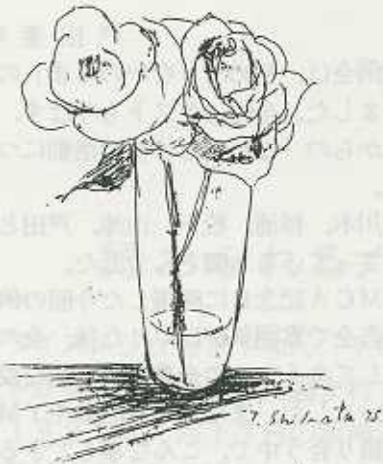
使用済み郵便切手を集め、整理して、切手市場で換金する方法が主力だったが、次第に現金の拠出による貢献が増えてきた。切手を有利に換金するために奉仕する専門家のワイズメンをフィラテリスト、またこの資金の支出面を担当する委員会を BFEC (エクスペンディチャ・コミティ) という。

(訳: "HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTER 1995-1996")

\*\*\*



~~~~ メネットだより ~~~~



「メネットだより」新設のお知らせ

メネット会長 柴田 暢子

朝夕はめっきり肌寒くなってまいりました。

メネットの皆様お変わりございませんか。このたびメネットの皆様へ何か一言ということで、メネットの報告以外に、近況や雑感など、何でも結構ですから、お書き頂こうと「メネットだより」のコーナーを設けることになりました。

その第一筆を、メネットの大先輩であり、尊敬する鈴木美藤様をお願いいたしました。皆様もどしどし、このコーナーをご利用して頂きたく、ご投稿をお願いいたします。原稿はブリテン委員の福永様迄、ご送付下さいますこと、お願い申し上げます。

鈴木美藤

「メネットだより」と言うコーナーが出来ることになり、センチアルメネットも又一步進んで交りの輪を広げる喜びを感じています。メネット原稿第一声を記させて頂けるのは光栄です。

メネットの役割は色々あると思いますが、先ず第一に、例会にメンと共に出席することが大切なことと思います。その時会員の方、ゲストの方との笑顔と美声との交流が得られます。

第二は、ブリテンは出来るだけ目を通しましょう。そしてワイズのことを我が家の食卓の話題にのせる、これは任期半ばで召天された灰谷美智子さんの本当に素晴らしい標語です。是非実行して、お惚び致し度いと思ひます。

次に私共の歩んで来た昔、昔の思ひ出を少しばかり。夫謙介は熱心なワイズメンです。昭和29年東京勤務となり、我が家の生活が一変しました。子供三人は、小

学生、姑主人と私の甥二人、お手伝、と常に居候が一二人三人と出入の激しい時で、ワイズの話聞くこともなく、又語ってもくれませんでした。

病気で会社を休んでいる日に、夕方になると、そわそわしだし、髭を剃り、着替えて玄関にと急ぐ。どちらへと聞きますと、エへへと笑ってワイズ例会に急ぐ大昔からこの調子、こういう人をワイズでは「ワイキチ」と云れて来ました。こんな夫を持って幸福でした。お蔭さまで世界各地に日本の各地に沢山のワイズの出会いはあり、お友達に恵まれましたこと感謝です。

この欄には何でも気楽にお書き下さいとの会長のお話です。メネット皆様もどうぞ楽しんでお書き下さいませ。

▽▽

YMCA/YWCA

▽▽

## 世界合同祈禱週

(1995年11月12日～18日)

◎テーマ： 主よ、私をあなたの平和の道具としてお使いください。

○黙想のテーマ：

- 11月12日 私たちはみな、神の子どもです
- 11月13日 諸国の民が喜び祝い、喜び歌いますように
- 11月14日 神は豊かに与えてくださる
- 11月15日 神は私たちを、より大きな共同体へと目覚めさせてくださる
- 11月16日 私は私の民の苦しみをつぶさに見た
- 11月17日 主は母の胎にある私を呼んだ
- 11月18日 求めなさい、そうすれば与えられるであろう

## =今後のスケジュール=

○国際協力の集い' 95

日時：1995年11月10日(土) 6:30～8:30 p.m.

場所：大阪YMCA会館 9階 903 (定員90名)

テーマ：共に生きる社会を目指して

「第三の開国—いま一度日本の国際化を考える」

講師：ロニー・アレキサンダー氏(漸大総務課)

○第10回日本YMCA大会：(11月23日～25日)

日程：11月23日～25日 会場：御殿場 東山荘

○韓国女流陶芸家 愚香金斗先韓国伝統陶芸展

日程：1995年12月14日～21日 10:30a.m.～7:00p.m.

会場：大阪YMCA会館 1階 (チャリティ展)

○中西部・阪和部合同ワイズ新年祝会：(1/14/96)

場所：大阪YMCA会館 会費：¥7,000(1人1杯)



「第7回中西部会開催報告」

会長 柴田 健

1995年10月14日(土)大阪YMCA会館

去る10月14日第7回中西部会が大阪クラブのホストにより開催された。

加茂栄三中西部長、大阪クラブ宇野実行委員長を始め各御担当の役員の方々の良く準備された会場のもと内容は従来のもとは異なり、加茂中西部長の「今ワイズの原点を見つめよう」の標語に沿って、ワイズの現状において改善すべき点を各クラブ会長が代表して提言するということです。センテニアルでは私が一任され「情報化時代にワイズはいかに対応すべきか、その改善策と将来進むべき道」をテーマに述べました。

プログラムでは開会式での日本区太田理事、西副区鈴木理事の挨拶、島平直前部長のエルマー・クロウ賞の表彰等に引き続き三品様の司会による「会長の提言」から始められた。

○会長の提言(一人5分) 司会 三品ミチ子

- ①「若い人たちが入会しやすい  
クラブ作り」 小林 裕会長(大阪土佐堀)
- ②「EMC、新会員増強と  
維持養育」 田中 正会長(大阪茨木)
- ③「現状を克服する道」 石田正弘会長(大阪枚方)
- ④「Y'sメンバーの活動と交わりを  
導くカーCの力」 宇都宮垂穂会長(大阪セントラル)
- ⑤「ファジー」それが  
ワイズの長所である 三浦紀生会長(大阪高槻)
- ⑥「情報化時代にワイズはいかに  
対処すべきか」 柴田 健会長(大阪センテニアル)
- (7)「ワイズ事業を見直す  
必要はないか」 松原伸幸会長(大阪)
- ⑧「原点に立ち帰って」 尾形丈二会長(大阪千里)
- ⑨「楽しく魅力ある  
ワイズ」 松田義弥会長(大阪豊中)
- (10)「開かれたワイズを」ワイズメンクラブ  
をアピールする場を増やそう  
吉村周平会長(大阪西)

会長提言のあとグループトークキングがありA B C D Eの5グループに別れた。

○グループと司会者(代議員)

- A 福永嘉彦 B 山本 豊 C 森本栄三  
D 井上公男 E(会長グループ) 中川健蔵

グループ別に話し合いされたものを各グループの司会者によって総括報告された。

①会員増加に関するもの

- YMCAと密着する
- 若い人のために会費を検討する
- 知名度が低いので積極的にPRすべきである
- 女性の活躍の場を作る
- 新入会希望者に3回継続して出席することを改正する

②キリスト教に関するもの

- キリスト教が基本にあることによって方向が決まる
- キリスト教強調は押し進め過ぎると問題が出る

③会長の業務について

- 会長の仕事が多すぎる、軽減化すべきである
- 会長の就任要請が困難

④その他

- ワイズは何に奉仕しているのか
- ワイズ組織の問題である上位下達方式の是正
- 日本区大会の表彰のみなおし(お祭りの現状を見直す)
- B Fの見直し

会長グループでは、オープン例会を開き一般の人々も入れてあげる。ワイズ予備軍をつくる。会長の仕事が多忙すぎるなど多々あり。

私は情報の伝達は阪神大震災の時テレビではそのもつ機能の同時性により臨場感を茶の間で見ていて被害のすごさを感じボランティア活動に大きな力を発揮した。又新聞では視聴覚の不自由な人のために活動したセンテニアルの川越Y'sが報じられ、募金活動に大きな力を与えたことなどメディアの力の大きさを知ること、情報の原点はコミュニケーションであること、ワイズメンも相互理解の上になりたち、まずクラブがあり、その上に中西部が、日本区が、国際があるので、すべては個の延長線上にあること。

その個人会員を結ぶものは人と人とのホットなコミュニケーションである。すなはち極論すればワイズの活性化の原点は情報の原点と合い通じること。情報と比重とその選択にあること等を述べた。会員相互の信頼が大切。

以上各グループのまとめの発表があり、宇野実行委員長の挨拶、次期中西部長の今村一之氏の閉会の点鐘で例会の幕をとじた。閉会17時40分でした。



# ワイズメンズクラブ国際協会日本区 第2回 西副区大会

日時 1996年5月25日(土)～26日(日)  
会場 YMCA六甲研修センター

## 緑あふれる六甲山でお待ち申し上げます

ワイズメンが好きやねん、YMCAが好きやねんと言われる皆さん。

爽やかな六甲山の自然に囲まれて、飲んで、食べて、楽しい語らいの時間を共有しませんか。

1995年1月17日の阪神淡路大震災の復興途上の地、六甲山上にて西副区の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

当地のみならず世界各地では、戦禍・貧困等多くの人々が苦しみの中で生きようとしています。その人々へ手を差し伸べ、支援されておられる皆さんに心よりご苦労様と敬意を表すると共に、一年間の慰労を兼ね、多くの仲間の出会い、語らい、情報の交換の場としてこの大会が有意義であることを心から願っています。

六甲山上の自然に囲まれ21世紀を展望し、大いに語らい交歓し、明日からの活動の一助になれば幸いです。

### 1. 登録費 15,000円/メン・メネット

登録費の中にはコミュニケーションアワーI (ガーデンパーティー)

ならびに六甲研修センターと六甲スカイヴィラでのコミュニケーションアワーII (懇親会)の経費が含まれております。

### 2. 宿泊費 ・ YMCA六甲研修センター 4,700円～6,300円 (朝食付)

電話(078)891-0050

・六甲スカイヴィラ 10,000円 (朝食付)

電話(078)891-0140

※ 以上が今大会のオフィシャルホテルです。それ以外の施設での宿泊を希望の方は各自でお申し込み下さい。

### 3. 第2回 西副区大会プログラム (概要)

1996年5月25日(土) AM 日本区役員会

PM 西副区大会

開会式、バナーセレモニー、ワイズソング、  
歓迎あいさつ、来賓紹介、メモリアルアワー、  
ニューミュージック演奏、  
ガーデンパーティー、その他

5月26日(日) AM 聖日礼拝、記念植樹

日本区・西副区アワー、その他

閉会式

※ プログラムの詳細は現在打合せ中です。決定次第各クラブ会長にご案内申し上げます。



## = 10月第2例会報告 =

(10月25日(木) 6:30p.m.)

1. 第7回中西部会(10/14(土))報告:  
日本区より太田理事が出席された。各クラブ会長10名の5分間提言あり、柴田会長は「情報化時代にワイズはいかに対応すべきか、又その改善策と将来とるべき(進むべき)道」と題して述べた。  
出席のクラブ会長が一堂に集まり、ディスカッションを行い、「公開講座」「規約の改正」等種々討議された。(別掲柴田会長報告を参照願います。)
2. 最近の会員動向:
  - 黒田副会長は10月22日退院され目下自宅にてご静養中。しばらくは通院される。例会出席は先になる模様。
  - 金沢善郎氏は退会された。
3. 最近例会の出席率が良くない。特に9月のメネット月にメネットの出席が従来より少なかった。これらのことにつき、その改善策を検討した。
4. プレテンにメネットコーナーを作り、「メネットだより」としてメネットの方々の寄稿をお願いする。メネットコーナーを設けているクラブは25、1行もないクラブは28クラブある。
5. ミャンマーのニャン君(留学生)は友好会員とする。会食代は例会費にて賄うこととする。
6. YMCAファミリー・クリスマス(12/15)の件:  
佐藤君、柴田メネットが準備会に出席。メネットの協力が必要である。11月例会にて検討する。  
最低20名出席を要する。当クラブは“ぜんざい”を受持。秋月君はサンタクロースになって活躍される。10,000円を当クラブより拠出する。
7. 韓国女性陶芸家がYMCAにてチャリティー展を行う(12月)。商品販売。真嶋君より協力要請あり。
8. 大阪河内クラブ創立20周年記念例会(10/29):  
当クラブより鈴木メネット、柴田メネット、三浦君の5名が出席予定。
9. 11月第1例会(11/15):別掲プログラムの通り。
10. 12月第1例会(クリスマス・ファミリー例会)(12/20),  
実行委員を下記の通り選出。(MET委員ほか、なかのしまクラブより1名。)  
秋月君、栗山君、佐藤君、津田葉君、戸田君、平田君、福永君、森メネット。
11. YMCA安全の日:20,000円Yサより拠出。
12. YMCA国際協力の集い(11/10): 参加要請。
13. その他:

## = 11月第2例会 =

日時:1995年11月22日(水) 6:30~8:30 p.m.

場所:大阪グランドホテル

大阪河内クラブ創立20周年記念例会に出席して  
会長 柴田 健

10月29日(日曜日)大阪国際交流センターにて、大阪河内クラブ創立20周年記念例会が開催されました。センテニアルクラブからは鈴木謙介メン、美藤メネット、柴田 健メン、暢子メネット、三浦メンの5名が参加。クラブよりはお祝い金一封と、バナレットをさしあげました。

なお、センテニアルの日本区名誉理事の鈴木謙介メンは河内クラブ誕生の折サインをされた、ゆかりのクラブであり、御招待をお受けになっておられました。

20周年記念例会のプログラムは、12時55分より「河内クラブ20年の歩み」をそのハイライトをスライドで映写。

第1部の記念式典が13:00より開始。開会点鐘を大阪河内クラブ会長岩坂正雄氏で始まり、ワイズソングを全員で歌い、聖書朗読・祈禱は大阪河内クラブの金安弘氏が行い、続いて岩坂会長の挨拶・ゲスト紹介、祝辞を日本区代表、阪和部部長岩本 章氏、大阪YMCA理事長坂口治男氏、済州クラブ会長梁和奎(通訳)金安弘氏があり、記念講演:社会福祉法人、日本ライトハウス理事長岩橋明子様の「共に歩む」-視覚障害者の自立更生のために-を興味深く聴かせて頂きました。

第1部はシビアな雰囲気の中で行われ、第2部の祝会に移り、1部2部とも軽妙な司会の望月強、箕浦陽子様のトークにより盛上がり、パーティに移り、日本区名誉理事岩越重雄氏の乾杯で幕を開き、立食ハイキング方式で行われ、しばし、盛たくさんの食事とビールで満腹になれば、あちこちで歓談、祝電披露などあり済州IBC功労者への感謝、クラブ内表彰があり、続いて参加クラブ紹介、約20のクラブが参加、大盛況であった。

プログラムの最後に京滋カントリーワイズメンのカントリーミュージックは素晴しく場内に活気がみなぎり、音楽に合わせてダンスを踊る人々でフロアはあふれた。

鈴木メネットもセンテニアルでもこういうのをやりましようとおっしゃってました。最後に激励の言葉を日本区名誉理事・センテニアルの鈴木謙介氏が述べられ、「何も言うことはない、このまま今のエネルギーをもって頑張ってください」と河内パワーを激賞されました。お礼の言葉を大阪河内クラブ20周年実行委員長箕浦泰之氏が述べられ、岩坂正雄会長の閉会の点鐘で幕をとじました。なお河内クラブの伊藤圭介メンとは私と中学から大学まで一緒に同期であり、彼もワイズ歴は長く、久方ぶりに会い大変喜んでくれました。伊藤メンも、玲子メネットも裏方で一生懸命頑張っておられ、他クラブ訪問も人々とのコミュニケーションが出来良いことだと思いました。

以上



## ◆◆◆ クラブ・ソング ◆◆◆

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
Ne'er to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと ほまれゆたか  
まことは 胸にあふれん

## ☺ニコニコ・メッセージ☺

- 出張のため遅れて申し訳ございません。  
・・・栗山佳三
- 本島様、EMCの展開方法についてさまざまな事例紹介をまじえてのお話し有り難うございました。  
楽しいお話しでした。・・・笹江良樹
- 本島さん、久し振りに刺激になるお話をありがとうございました。しかも楽しく伺いました。  
・・・佐藤勝雄
- 本日はミャンマーのヤン君がゲスト会員として来られ、日本区EMC事業主任本島紀之様のクラブ拡張の色々なお話し下され、大変楽しかったです。  
サンフランシスコYMCA総主事クラークさん御都合で来られなくなり残念です。・・・柴田 健・暢子
- EMC-Eはほんとうにむずかしいですネ！でも「なかのしま」はゆっくり、しっかり形作っていきたいですネ！センテナアルのみな様のサポートをお願いします。・・・杉浦眞喜子  
京都センチュリーの本島兄のEMCの話はY's運動の基本にふれていてとてもよかった。  
・・・鈴木謙介
- EMCについてとても解かりやすくお話しして下さいありがとうございました。  
又先月は、5日ほど入院し、メンバーの皆様にご心配をいただきありがとうございました。今はすっかり元の生活にもどり、元気しております。  
・・・隅田 保・恵子
- 本島さんのお話はより勉強になりました。  
・・・田中穰二
- 本島EMC事業主任一久しぶりにお会いして元気な姿を拝見、楽しく話をききました。  
・・・谷川 寛・有美子

- 本島さん、参考になるお話しをありがとうございました。  
・・・津田葉清政
- クラブについて改めて考えさせられる例会でした。  
・・・長瀬由香子
- この間10/14の中西部会でEMCが取り上げられた。本島様の今夜のようなお話を先にお聞きしておればもっと討論できたのに。・・・福永嘉彦・滋子
- EMCの卓話、楽しく、有意義に拝聴させて頂きました。  
Y'sの将来を担う若い人々とシニアメンバーの架け橋になればと考えております。・・・藤原正巳
- ひさしぶりで本島さんにお会いし、楽しい話を伺うことができました。青春の思い出が心によぎってきました。  
・・・真嶋克成
- 本島様、参考となるお話しありがとうございました。クラブ活性化をめざして。・・・三浦直之
- 本島事業主任のお話をメンバー全員が自分への問題提起として受け止めて、  
新クラブ出発へ取り組みたいものですネ・・・  
・・・山田孝彦

## 《 PROFILE 》

NYAN KYAW (ニャン・ジョー)

ミャンマー(ビルマ)国ヤンゴン市出身。  
1991年に来日。大阪YMCA日本語学校で学んだ後、大阪工業大学に入学。  
現在、同大学工学部電機科 3年生。  
大学卒業後は、民間外交官として「ミャンマーと日本」の文化の橋渡しができるような人材になりたいとのこと。

## = 11月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people ...  
長瀬君 5日 山村君 6日 栗山君 8日  
掛江メット 27日 真嶋君 29日

## 〔個人消息〕

黒田巖之君：10月22日退院され、目下自宅にてご静養中。しばらく通院される由。一日も早く完治され、例会でお会い出来るようお祈りします。

## 〔編集後記〕

急に寒くなり深まる秋の到来を覚える頃になりました。ここで「メネットコーナー」の登場は、何か新鮮な活力が吹き込んできた感じがして、期待に膨らむセンテナアルを祝福してくれるようです。今後のご発展をご一緒にお祈りしたいものです。(Y.F.)